

【義務教育学校】令和6年度学校の特徴

| 番号 | 学校名 | 研究主題、特色ある実践等 | 主な体験活動 | 学級数 | 児童生徒数 | TEL/FAX | 指定・公開日等 |
|----|---------------------|---|--|-----|-------|--------------------------------------|---------------------------------|
| 1 | 名取市立 関上小中 学校 | <p>【研究主題】 他者と関わりながら、自ら進んで意欲的に学習に取り組む児童生徒の育成～考えを伝え合う活動を重視した授業づくりを通して～</p> <p>【特色ある実践等】 ○4・3・2制による9年間の一貫教育 ○一部教科担任制と小・中教員によるTT指導の実施 ○主体性を育む異学年交流の実施 ○外国語教育の推進(1年生からの外国語活動) ○防災教育の推進(未来の防災リーダーの育成) ○「関上学」の継続・深化(郷土教育・志教育・防災教育) ○ICTの活用 ○文化・運動・健康活動の推進</p> | <p>【①・3・4学年】海浜植物の観察、栽培 【①・5学年】松島宿泊学習 【②・9学年】海岸清掃活動 【②・委員会】緑道、地域の公園清掃活動 【③・4学年】キャップハンディ体験活動 【⑤・4学年】アウトリーチコンサート 【⑥・5学年】田植え、稲刈り 【⑨・8学年】職場体験 【⑩・7～9学年】命の講演会(性教育)</p> | 23 | 459 | TEL 022-385-8180 FAX 022-385-8188 | |
| 2 | 大崎市立 古川西小 中学校 | <p>【研究主題】 自ら学び、関わり合いながら問題を解決する児童生徒の育成～「協働的な学び」から“学び上手な児童生徒”を育てる授業の工夫を通して～</p> <p>【特色ある実践等】 ○地域の関係機関や応援団と協働した、地域とともにある学校づくり ○地域素材を生かしたふるさと学習「西学」 ○前期部(1～4学年)、中期部(5～7学年)、後期部(8、9学年)の3ブロック制 ○前期課程全学年での一部教科担任制の実施、3～6学年への後期課程教員による乗り入れ授業 ○全校行事、学年間交流、縦割り清掃等による異学年交流の推進 ○AIDリルの導入、放課後学習支援等による個に応じた確かな学力の伸長</p> | <p>【①・5学年】花山宿泊学習での山の自然体験 【①・7学年】志津川宿泊体験・海の自然体験 【①・6学年】オルレ型ふるさと歴史学習 【②・9学年】西古川駅・東大崎駅の清掃活動 【③・3学年】キャップハンディ体験 【⑤・3～7学年】プロ和太鼓奏者の演奏会 【⑤・5、6学年】校区内の伝統芸能体験 【⑥・1、2学年】サツマイモ栽培活動 【⑥・5学年】米作り 【⑥・9学年】居久根保全体験活動 【⑨・7学年】職場体験学習 【⑩・7、8学年】地区公民館学習</p> | 19 | 329 | TEL 0229-26-2114 FAX 0229-26-2115 | R4～R6 県指定 学力向上マネジメント 支援事業 |
| 3 | 色麻町立 色麻学園 | <p>【研究主題】 「分かる・できる」を実感させる授業作り～校内体制を生かしたPDCAサイクルに基づく授業改善を通して～</p> <p>【特色ある実践等】 ○9年後の成長を見据えた児童生徒の姿「色麻学園アクションプラン」を作成し、児童生徒・教職員・保護者での確認や学期毎に振り返りをする教育活動 ○432制をとり、連続性、系統性のある教育課程を工夫・充実させ、リーダー経験を多く積ませる等、9年間での子どもの育成 ○色麻ならではの体験活動や、地域連携、志教育の充実 ○1町1校であることから、他校との積極的な交流を推進し、色麻の良さを伝えたり、他校の取組を学んだりする教育活動。 ○前期・中期で地域を学び、後期で地域への恩返しをする貢献活動 ○ノーチャイムで過ごす学校生活から、時計を見て行動し、時間を守る習慣を身に付けられる児童生徒の育成 ○中期部での教科担任制の充実</p> | <p>【①・1学年】アユ・ヤマメ・イワナ放流体験 【⑥・2学年】サツマイモの定植・収穫体験活動 【⑥・3学年】ハウサイの定植・収穫体験活動 【⑥・4学年】エゴマ作り体験活動(苗植え付け、収穫、脱穀等) 【⑥・5学年】米作り体験活動(田植え、稲刈り) 【⑩・6学年】色麻町内遺跡巡り ※以上は、地域の方や町内高校との活動 【①・5学年】花山宿泊活動 【⑤・5、6学年】芸術(音楽)鑑賞 【⑩・7学年】女川校外学習(1日):女川町見学、インタビュー、語り部による講話 【⑨・8学年】キャリア学習:ハローワークによる職業講話、職場体験学習、立志式 【⑧⑩・9学年】修学旅行(3日):地域の特色を学ぶ体験活動からの後期課程生による地域の活性化に向けた郷土学習 【⑩・全学年】異校種間連携事業:町内高校との連携による志教育</p> | 23 | 432 | TEL 0229-65-2409 FAX 0229-65-2410 | R6県指定 学力向上マネジメント 支援事業 |
| 4 | 栗原市立 金成小中 学校 | <p>【研究主題】 共に学び合い、知識の理解の質を高める児童生徒の育成～学び合い活動の工夫を通して～</p> <p>【特色ある実践等】 ○義務教育9年間を一体型校舎で学習し、確かな学力の育成と豊かな人間性の育成を目指していること ○学年に応じた教科担任制を導入し、後期課程に向けて滑らかな接続を図るとともに、教科指導の充実を図り、確かな学力の定着につなげていくこと ○生活科や総合的な学習の時間の中で、9年間を通して郷土について学び(栗原ふるさと学)、国際交流(国際キャリア学)を推進していくことで、持続可能な社会の担い手を育成すること ○前・後期課程を統一した専門委員会を組織し、主体的な活動を通して、学校生活の充実と向上を図ろうとしていること</p> | <p>【⑥・3学年】りんご栽培体験 【①・5学年】花山宿泊学習 【⑥・5学年】稲作体験 【③・7学年】福祉体験学習 【⑤・8学年】わらび座研修 【⑨・8学年】職場体験学習</p> | 22 | 370 | TEL 0228-42-1047 FAX 0228-42-1148 | |